

険しい道のりを笑顔で走破

◎鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi

父野川地区を走る参加者たち



「鬼の地獄道デュアスロン in Hiyoshi」は2月25日、日吉地区を中心に開催されました。トライアスロンの水泳をランニングに変えたスポーツ「デュアスロン」。この日は、県内外から多数の自転車愛好家らが参加しました。

参加者らはフルコース（ラン約10km・バイク約34km・ラン約3km）と、バイクのみコース（約34km）に分かれて、日吉産地を出発。日吉地区をはじめとする鬼北町の景色を楽しみながら走りしました。時折「しんどい」と疲れを覗かせながらも、それぞれのペースで地獄道を走破していました。

万が一のために備えてほしい

◎防災グッズ贈呈式

浦瀬会長（写真左）と兵頭町長（写真右）



2月14日、中央公民館で、南予地区郵便局長会（会長・浦瀬孝之）から当町へ寄贈された「乾電池式LEDセンサーライト」11台の贈呈式が行われました。

これは、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震等の災害時に有効活用してもらいたいとの願いから寄贈されたもの。兵頭町長は「郵便事業のみならず、行政各般にわたり貢献していただき感謝している」と感激していました。

今後、このLEDセンサーライトは、夜間等でも倉庫から避難所開設物品を容易に取り出せるように、防災倉庫に設置される予定です。

五感を使って野生動物に触れる

◎鬼北町里山の自然「冬の探鳥会」

鳥のさえずりに耳を澄ませ姿を発見



鬼北町里山の自然「冬の探鳥会」は3月3日、鬼北総合公園周辺で行われ、町内の小学生やその保護者など17人が参加しました。

この日の講師は、環境省自然公園指導員の山下武さん。まず、山下さんは「目だけを使って探すのではなく、五感を使って見つけるのが探鳥の醍醐味」と、探鳥のコツを伝授しました。

公園周辺では、カラス、トビやヒヨドリなど、さまざまな鳥を発見。また、参加者たちはシカやうさぎなど、野生動物の足跡やフンなどから動物の生態を学び、鬼北に住む動物への理解を深めていました。

個性豊かな芸術作品に魅了され…

◎平成30年度鬼北地区巡回美術展

絵画や焼き物など多数の作品を展示



鬼北地区文化協会連絡協議会（会長・井芝千章）が主催する「平成30年度鬼北地区巡回美術展」が行われ、2月6日から11日までは中央公民館で、2月20日から25日までは日吉住民センターで、それぞれ町内外の会員らの作品が多数展示されました。

会場には、絵画、書道や焼き物など、会員らが趣向を凝らして制作した個性溢れる作品が一堂に集結。会場を訪れた人たちは、丹精込めて作られたそれらの作品が織りなす世界観に引き込まれるかのように、ずらりと展示された作品を一つ一つじっくりと見て回っていました。